

2024年9月9日

株式会社マーキュリアホールディングス

(コード番号：7347 東証プライム)

**マーキュリア HD 2024年12月期第2四半期決算説明会  
「ログミーファイナンス書き起こし」公開のお知らせ**  
バイアウト1号ファンドからの成功報酬が3Qに実現、年度予算は過去最高を据え置き

株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「当社」といいます。）は、この度2024年12月期第2四半期決算説明会を開催し、その全文書き起こしをログミーファイナンス上で公開したことをお知らせいたします。

書き起こしについては、下記リンクよりアクセスいただけます。

<https://finance.logmi.jp/articles/380173>



**【書き起こし公開の背景】**

当社は持続的な成長と企業価値の向上を目的として、株主および投資家との対話を促進するなど、積極的なIR活動を展開しています。ログミーファイナンスにおける書き起こしにより、当社の事業理解のみならず主業とするオルタナティブ投資の魅力についても広く認知頂くことを目指しています。当社はこれを「オルタナティブの民主化」として掲げておりますが、引き続き情報発信に努め、当社グループ及びオルタナティブ投資についてご理解いただける機会の創出を目指した取り組みを進めてまいります。

**【当社グループが目指す「オルタナティブの民主化」とは】**

マーキュリアインベストメントグループが管理・運営を行っているファンドは「オルタナティブ（代替）投資」に分類されます。伝統的4資産に比べて流動性が低く、投資期間も比較的長期に及びますが、相応の超過リターンを獲得を目指す投資戦略です。欧米と比較してオルタナティブ投資に対する理解の低い日本において、本投資に関する魅力の認知向上も当社の重要な役割であると考えています。

**「オルタナティブの民主化」**

<b>オルタナティブ資産</b>		<b>(参考) 伝統的4資産</b>		
プライベート エクイティ	インフラ ストラクチャー	国内 株式	海外 株式	
不動産		国内 債券	海外 債券	
商品 特徴	投資期間：長期		投資対象への 適切な管理が 重要	
	流動性：低			
	期待リターン：高			
日本 の 現状	欧米と比較してオルタナティブ投資に対する理解は低く、投資家のポートフォリオにおけるオルタナティブ資産割合は低い			
	事業承継等の非公開企業における資金需要など、社会的なオルタナティブ投資資金へのニーズは高まる			
<b>『オルタナティブの民主化』</b> より多くの皆様にオルタナティブ投資の魅力を知ってもらうことを目指す				
個人投資家 向け説明会	株主優待制度	メディア出演	個人投資家 向け金融商品 の提供	




以上

**【マーキュリアホールディングスの概要】**

会社名 : 株式会社マーキュリアホールディングス  
 本社所在地 : 東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 3 号  
 事業内容 : 持株会社  
 代表者 : 代表取締役 豊島 俊弘  
 Website : <https://www.mercuria.jp/>

**私たちは「ファンドの力で、日本の今を変える」をミッションとし、事業を行っています。**

※本リリースに関するお問い合わせ先  
 株式会社マーキュリアホールディングス  
 事業企画部

Tel : 03-3500-9870  
 Mail : [info@mercuria-hd.jp](mailto:info@mercuria-hd.jp)  
 Website : <https://www.mercuria.jp/>